

7-11

演題	DS 車両を活用した地域交通への取組み
副題	～あのピンクの車を地域の足へプロジェクト～

法人名	社会福祉法人 若竹大寿会
施設名	横浜市片倉三枚地域ケアプラザ

発表者名 (職種)	安次嶺 寛子 その他
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	横浜市神奈川区三枚町 199-4
TEL	045-413-2571
FAX	045-413-2573
メールアドレス	katakura@wakatake.or.jp
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人 若竹大寿会 横浜市片倉三枚地域ケアプラザ 生活支援コーディネーター DS 車両を活用した地域交通への取組
---------------------------	-------------------------------------------------------------------

研究の目的、PR ポイント

- ・ 移動困難高齢者の引きこもり防止
- ・ 住民主体の地域交通プロジェクト発足
- ・ 地域ケアプラザ生活支援コーディネーターの地域の関わり方

取り組んだ課題

横浜市片倉三枚地域ケアプラザで実施された地域包括支援センター主催の「包括レベル地域ケア会議」で上がった地域の声「デイサービスの送迎車を自分たちの地域の足として活用してほしい」の声の実現に向けての3つの課題を掲げた

- ① 福祉車両を地域に貸出す際の課題
- ② 運転ボランティア募集の課題
- ③ 運転ボランティアと地域役員（70代）の、高齢者の生活課題の共有

具体的な取組み

- ① 母体法人本部、地域ケアプラザ所長・地域包括職員・生活支援コーディネーターとの打合せ会議（5回）。
 - ・ 全国の住民主体の移動支援の取組を知り、エリアにあった移動支援を考える
- ② 貸出条件に適した人材の確保
 - ・ 国土交通省認定「福祉有償運送運転者養成講習及びセダン等運転者養成講習」の企画
 - ・ チラシ 500 枚作成、自治会・町内会回覧版で周知、地域役員による推薦
- ③ 多世代での高齢者の生活課題の共有の場の設置（2回）
 - ・ エリアの地図を広げ、地域全体像を把握し、高齢者の生活課題の共有をする
 - ・ その他、地域交通プロジェクトの立ち上げる

活動の成果と評価

< 成果 >

- ① 母体法人が車両を貸し出すことに合意
 - ・ 貸出し出す際の決まり事を決定
- ② 地域交通プロジェクト発足
 - ・ 地区社会福祉協議会役員 6 名（70代）
 - ・ 運転ボランティア 12 名（40代 4名、50代 8名）

- ③ 多世代による、高齢者の生活課題の共有
 - ・ 40～50代世代から見た高齢者の生活の困り事の声を聞いた

< 評価 >

- ・ 住民主体の地域の移動支援は、全国的に広がりつつあるが、担い手も高齢化により、免許返納を考える年齢でもあるため、継続性が難しい取組であることを知った。
- ・ 今回 40代～50代の運転ボランティアの場合は、今後の取組の持続性が高まったと考えられる。
- ・ 包括レベル地域ケア会議での地域の声を実現するために、地域住民を始め、様々な福祉関係者と高齢者の移動に関する困り事の共有が出来たと感じている。

今後の課題

2024 年本格稼働に向け

- ・ 書類面の整備（規約、協定書、運行マニュアル、イレギュラー対応マニュアル、受付簿、走行時刻表など書類の作成など）
- ・ 自治会・町内会を巻き込んだ、地域住民への周知

参考資料など

- ・ 横浜市統計情報ポータル
- ・ 横浜市「地域の交通・移動支援パンフレット」～お出かけにお困りの方へ～
- ・ 第4期神奈川区地域福祉保健計画かながわ支え愛プラン冊子